

ことほ  
言祝ぎの美  
— 寺宝でつづる吉祥



上：新子眞安師画 六曲一風のうち 江戸時代 相国寺蔵 下：御母位師画 六曲一風 江戸時代 相国寺蔵

I期 2019年 4月6日(土) ▶ 6月23日(日)

II期 2019年 7月6日(土) ▶ 9月16日(月・祝)

【開催時間】 10:00 - 17:00 (入館は16:30まで)

【休館日】 会期中無休

【拝観料】 一般800円 (65歳以上・大学生600円 中高生300円 小学生200円)

※一般の方に限り、20名様以上は団体割引で各700円

【主催】 相国寺承天閣美術館、日本経済新聞社

【協賛】 一般財団法人万年会

【協力】 MBS

相国寺承天閣美術館  
SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル  
TEL: 075-241-0423 <http://www.shokoku-ji.jp/>



源氏物語図屏風 狩野常信筆 六曲一双 江戸時代 相国寺蔵 ※I期展示



ことほぎとは、言葉で祝うことを意味します。言葉には現実をあやつる力があるという「言葉（ことだま）」思想が古来よりあり、そこから和歌や物語が生まれ、日本文化を彩ってきました。さらに言葉であらわされたモノが、絵画化、意匠化され、多くの美術工芸品として今に伝わっております。

また、よろこびを言葉にのせてたてること、これは、私たちの人生の節目に欠かせないものです。新年を祝い、結婚を祝い、長寿を祝う。これらは、儀式となって様々な工芸品を生み出しました。

祈りもまた、ことほぎの聖性を象徴する行為です。神や仏にささげる祈りは、宗教芸術として結実し、寺社空間を荘厳してきました。

新たな天皇の御代をことほぐこの年、相国寺承天閣美術館では、皇室ゆかりの宝物をとりまぜ、相国寺、金閣、銀閣の名品で祝いの展示をいたします。

# 言祝ぎの美

ことほぎ

## 寺宝でつづる吉祥



重要文化財 風嵐石竹図 林良筆 一幅 明時代 相国寺蔵 ※II期展示



法華経観音像 加藤栄三信清筆 一幅 江戸時代 相国寺蔵 ※I期展示

### [展示会の構成]

#### 一章 言の葉を描く

主要展示作品  
郭子儀兒孫遊嬉図屏風、  
重要文化財 源氏夕顔蒔絵手箱 他

#### 二章 祝いの調度

主要展示作品  
御即位図屏風、大名婚礼調度 他

#### 三章 祈りの美

主要展示作品  
法華経観音像、開山堂襖絵 他



重要文化財 亀甲花菱文蒔絵大名婚礼調度 一揃のうち 江戸時代 相国寺蔵



足利義政 百首和歌 一卷 室町時代 慈照寺蔵 ※II期展示

重要文化財 七難七福図巻 円山応挙筆 三巻のうち福寿巻(部分) 江戸時代 相国寺蔵



### [日程]

I 期 2019年4月6日(土)～6月23日(日)

II 期 2019年7月6日(土)～9月16日(月・祝)

[関連プログラム]

◎講座

「皇室と相国寺」本多潤子(当館 学芸員)

2019年5月4日(土) 14:00～15:30

◎ギャラリートーク

2019年6月1日(土)・9月7日(土):各14:00～



### 交通

◎JR京都駅より

京都市営地下鉄今出川駅下車 3番出口から徒歩8分

◎阪急電車烏丸駅より

京都市営地下鉄今出川駅下車 3番出口から徒歩8分

◎京阪電車出町柳駅3番出口より徒歩20分、または市バス

市バス59・201・203号系統同志社前下車 徒歩6分

市バス102号系統(洛バス)烏丸今出川下車 徒歩8分

相国寺承天閣美術館  
SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル  
TEL: 075-241-0423 <http://www.shokoku-ji.jp/>